

# 信州民報

2011年(平成23年) 6月12日(日曜日・先負)

発行所 信州民報 発行者 若林 邦彦 日刊 日祝日の翌日及び第4日曜日 休刊  
〒386 長野県上田市秋和間屋505 TEL 0268-22-7355 購読料1ヵ月1,000円(送料別) 振替口座 00550-2-14293  
FAX 0268-22-6866

株式会社 飯島商店  
TEL 23-2150(代)

おかげさまで41周年

## 東信ポータル

上田市国分1-8-11  
TEL 0268-23-2175  
http://www.0268.net

新聞は  
て頂きます

な人形・  
盆提灯

篝籠

1-3-22  
3355(代)

## 「山村再生プロジェクト」教育実習行方!

### 東京農大生 農業体験で地域の人とふれあう

長和町は10日から12日までの3日間、東京農業大学「山村再生プロジェクト」教育実習を開催。同大1年から4年の49人が参加した。

東京農大国際食料情報学部食料環境経済学科は平成20年11月から、文部科学省の「質の高い大学教育(教育GP)」の一環として、長和町をフィールドに遊休農地地の整備有害鳥獣対策ネット設置など2年4カ月の間、様々な活動をしてきた。同大は事業の終了に伴い今年4月から、長和町と「山村再生プロジェクト」教育実習プランをスタート。新たな躍進を目指したいとする。

4月には、学生らが整備してきた町内長久保の芹沢圃場にレタスなどの苗を植栽。先月は430平方メートルの水田にうるち米や餅米の田植えをし、今回で3回目の取り組み。

参加者の一人・伊藤摩耶さん(2年)は「地域の人たちとふれあいながら普段できない体験をすることが楽しみ」と話す。また同大では「プロジェクトの参加者を募っても、すぐに定員になるほどの人気で驚いている。学生時代の体験学習は将来にも活かせるので、こういう場所は有り難い」と話していた。



水車脇の池づくりに汗を流す



先輩が草の種類を説明しながら作業

生実習として、芹沢圃場の草刈りやピオトープにする水車のある池づくり、農業農村体験学習の本陣圃場の手入れをした。

11日は自然環境資源活用実習で、町で開く旧和田峠スキ場植樹祭に参加。鷹山圃場で信濃霧山ダツタンそば生産者組合と協働で、遊休農地再生実習の獣害柵を設置した。なお今日12日は、長門パイパスで花植えと和田地区で清掃ボランティアに参加し、2泊3日のスケジュールを終了する。町では「地域のイベントにも積極的に参加してもらい、いろいろ企画を出してほしい」と期待を込めて語る。

## 上田市

### ことぶき大学創造館校2年生 城下小を訪問 授業参観も...

上田市ことぶき大学創造館校2年生30人は10日、市内の城下小学校(宮澤栄一校長・422人)を学校訪問した。創造館校の2手主は専手、互々の

を控え、練習に励む合唱部(40人)の練習風景を見学。子どもたちは体育館ステージで、「上を向いて歩こう」やコンクール果頭曲『まっくらま中問』

## 東御市

### 生涯学習市民大学講座 「時局講演会」18日 演題「原子力発電とは？」

合唱に聴き入る参加者

東御市生涯学習市民大学講座「時局講演会」は18日(土)午後1時30分、3寺(開場は千歳1寺)、

## 霧さ逆

▼東日本大震災が発生から3カ月を迎えた。12都道県で1万5400人以上が死亡、行方不明者が未だに8千人を超える未曾有の大惨事。被災地の悲劇を無視した永田町の喜劇がどう進もうが泣いて怒って笑って、その中で人々は暮らしていくしかない。コレが現実。

▼頼りになるのは一般国民のマンパワーとカネ。が大震災に寄せられた義援金2500億円のうち、被災した都道県に送金されたのは約3割の822億円。しかも「義援金配分割合決定委員」が支給金額の「算定方法」を決めたのは6月6日。3カ月かかってやっと方法：国のリーダーは誰だ。

▼「援助することは簡単だが、その援助を受け取るのが難しい。奥尻や島原の責任者を急いで神戸に迎えるべきだった。経験が役に立たないとはこういうこと」と、阪神淡路大震災被災者、奥尻島の地震から18年、島原雲仙普賢岳噴火(大火砕流発生)からちょうど20年、多くの命を代償とした経験は、どこにもいかされてない。コレが現実。

▼瓦礫の処理も京釜の令

得なプランのご案内

3年6月30日(木)まで

年 **1.800%** (保証料別) (変動金利)

## 環境・産廃リユース

解体・処理からリサイクルまですべて解決

環境再生医

いのちふたたび